

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月11日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2497 URL <https://united.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 与規  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 山下 優司 (TEL) 03(6821)0000  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月19日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月17日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,863	△26.4	△1,221	—	△1,268	—	△1,559	—
2025年3月期	12,035	△4.3	2,646	△45.5	2,577	△46.6	1,480	△37.4

(注) 包括利益 2026年3月期 △1,560百万円(—%) 2025年3月期 △574百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△41.33	—	△8.2	△5.7	△13.8
2025年3月期	37.71	37.69	6.7	10.0	22.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 △5百万円

(注) 2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	20,048	17,764	85.5	458.06
2025年3月期	24,842	21,770	84.7	535.75

(参考) 自己資本 2026年3月期 17,150百万円 2025年3月期 21,046百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△3,977	△109	△2,561	5,963
2025年3月期	1,380	△237	△1,516	12,611

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2025年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	1,885	127.3	8.5
2026年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00	861	—	4.6
2027年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00	—	—	—

### 3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,800～8,200	△12.0～△7.5	0～200	—	0～100	—	0～50	—	0.00～1.30

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名) 株式会社ブリューアス

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

第1四半期連結会計期間において、キラメックス株式会社が株式会社ブリューアスを吸収合併したことにより、株式会社ブリューアスが消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、当吸収合併後企業の名称は株式会社ブリューアスになります。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	40,412,690株	2025年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2026年3月期	2,971,488株	2025年3月期	1,128,403株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	37,728,485株	2025年3月期	39,261,652株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

- (1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	356	△92.8	△1,157	—	△709	—	△1,486	—
2025年3月期	4,951	△24.4	2,930	△40.2	2,969	△48.1	1,474	△29.5

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△39.41	—
2025年3月期	37.55	37.53

(注) 2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載していません。

- (2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	16,235		15,813		96.6	418.96		
2025年3月期	20,144		19,640		96.9	496.72		

(参考) 自己資本 2026年3月期 15,686百万円 2025年3月期 19,513百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2026年5月11日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(重要な会計上の見積り)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各国の通商政策の影響を受けつつも企業収益は高水準を維持しており、個人消費も底堅く推移しているなど緩やかに回復している一方、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の高騰や金融資本市場に与える影響、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、投資事業、教育事業及び人材マッチング事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しておりました。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいりました。具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、教育事業及び人材マッチング事業で増収増益となったものの、投資事業で投資先株式の売却量が前年同期比で減少した影響等により、売上高は8,863,075千円(前年同期比26.4%減)、営業損失は1,221,514千円(前年同期は営業利益2,646,466千円)、経常損失は1,268,786千円(前年同期は経常利益2,577,207千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は1,559,188千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益1,480,452千円)となりました。

#### ① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資等を行っております。

当連結会計年度は、投資先株式の売却量が前期比で減少した影響等により、売上高は399,507千円(前年同期比92.0%減)、セグメント損失は186,123千円(前年同期はセグメント利益3,907,427千円)となりました。

#### ② 教育事業

教育事業は、個別指導学習塾事業を運営する(株)ベストコ及びオンライン教育事業・スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する(株)ブリューアスにより構成されております。

当連結会計年度は、前第3四半期連結会計期間末から(株)ベストコを連結子会社化した影響で、売上高は3,689,513千円(前年同期比107.2%増)、セグメント損失は164,653千円(前年同期はセグメント損失438,585千円)となりました。

なお、(株)ブリューアスが運営するオンライン教育事業の2025年12月31日付での譲渡を決定したことにより、当連結会計年度において事業整理損79,765千円を特別損失に計上しております。

#### ③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、スカウト送信代行、採用支援等のRPO(採用代行サービス)事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント(株)及びデザイナー特化型マッチング事業を運営する(株)リベイスにより構成されております。

当連結会計年度は、人材紹介事業及びデザイナー特化型マッチング事業の拡大により、売上高は796,548千円(前年同期比20.3%増)、セグメント損失は39,330千円(前年同期はセグメント損失155,828千円)となりました。

#### ④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)、フォッグ(株)及び(株)インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当連結会計年度は、フォッグ(株)の主力事業であるオンラインくじで一部大型案件が失注した影響により、売上高は3,997,563千円(前年同期比13.5%減)、セグメント利益は132,545千円(前年同期比59.1%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,793,676千円減少し、20,048,774千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、剰余金の配当、自己株式の取得、法人税等の納付、投資事業における新規出資等により、前連結会計年度末に比べ6,648,066千円減少しております。
- ・営業投資有価証券は、投資事業における新規出資等により、前連結会計年度末に比べ1,364,382千円増加しております。
- ・その他流動資産は、未収還付法人税等の増加等により、前連結会計年度末に比べ604,793千円増加しております。

### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ787,632千円減少し、2,284,558千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・その他流動負債は、事業上の預り金の減少等により、前連結会計年度末に比べ531,152千円減少しております。
- ・未払法人税等は、投資先株式の売却等による課税所得の発生額が前期比で減少したため、前連結会計年度末に比べ331,874千円減少しております。
- ・繰延税金負債は、投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ246,771千円増加しております。
- ・買掛金は、主にフォッグ(株)の主力事業であるオンラインくじで一部大型案件が失注した影響により、前連結会計年度末に比べ113,192千円減少しております。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,006,043千円減少し、17,764,216千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ2,932,613千円減少しております。
  - ・剰余金の配当による1,373,424千円減少
  - ・親会社株主に帰属する当期純損失1,559,188千円の計上
- ・自己株式は、(株)博報堂DYホールディングスとの間の親子上場関係の解消を目的として取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,067,902千円増加しております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は5,963,294千円となり、前連結会計年度末に比べ6,648,066千円減少しました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3,977,412千円（前年同期は1,380,808千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失の計上1,328,821千円、営業投資有価証券の増加額1,142,640千円及び法人税等の支払額1,137,556千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は109,039千円（前年同期は237,816千円の使用）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出126,908千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,561,614千円（前年同期は1,516,724千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額1,372,646千円及び自己株式の取得による支出1,129,072千円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	77.7	81.7	87.2	84.7	85.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	97.1	77.4	131.4	116.4	94.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.1	0.1	0.1	0.2	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,204.8	1,928.9	1,159.9	557.06	—

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2026年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

2027年3月期は、各国の通商政策や中東情勢の緊迫化をはじめとする不安定な世界情勢による影響等で、依然として先行きが不透明な状況が続くことが予想されます。

2027年3月期は、現時点で収益の柱となる投資事業、㈱ベストコ、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱を中核事業と位置づけ、各事業個別の戦略で成長を目指してまいります。

中核事業の各事業個別の戦略は以下のとおりとなります。

投資事業につきましては、これまで国内のプレシード～アーリーステージ企業を中心に、自己資金で投資を行ってきた実績で培ったソーシング力・目利き力をもとに、事業会社としての経験も踏まえた支援力を活かし、大きなポテンシャルを持った事業性と社会課題の解決の両立を目指すスタートアップへの投資（「善進投資」）を拡大してまいります。また、IPOに限らない様々なイグジット手段により収益創出を図るとともに、AI銘柄投資と善進投資に注力してまいります。

㈱ベストコにつきましては、学習塾需要に対して供給が不足する地方において、直営展開により質の高いサービスを低価格で提供してまいります。また、1教室当たりの生徒数拡大、及び新規教室の出店による教室数拡大の両面から、事業規模の拡大に取り組んでまいります。

ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱につきましては、DSP・SSP事業を長年にわたり運営することで培った高度な自社開発力によって、既存プロダクトの先進性を維持しつつ、新たなプロダクトを創出することで、広告主のROIとメディア収益の最大化を実現してまいります。

また、その他の事業は、育成中事業として、次なる中核事業としての成長を目指してそれぞれの事業に取り組んでまいります。

以上により、2027年3月期の連結通期業績予想につきましては、売上高7,800～8,200百万円、営業利益0～200百万円、経常利益0～100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益0～50百万円を見込んでおります。2026年3月期まで連結子会社であったフォッグ㈱が2027年3月期から連結外となること、及び㈱ブリューアスが運営していたIT教育事業を2026年3月期に事業譲渡したことから、減収となる見込ですが、2026年3月期に営業損失を計上していたフォッグ㈱及びIT教育事業が連結外となること、並びに中核事業・育成中事業ともに増益となる見込のため、連結通期業績も増益となる見通しとなります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,611,361	5,963,294
売掛金	1,094,607	1,181,902
営業投資有価証券	7,702,045	9,066,428
棚卸資産	30,123	20,603
未収還付法人税等	8,274	634,179
その他	310,309	289,198
貸倒引当金	△14,990	△16,549
流動資産合計	21,741,732	17,139,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	630,647	661,388
車両運搬具及び工具器具備品	271,867	278,143
減価償却累計額及び減損損失累計額	△524,313	△568,020
有形固定資産合計	378,201	371,511
無形固定資産		
のれん	509,293	388,793
ソフトウェア	342,559	338,352
その他	1,025	1,025
無形固定資産合計	852,878	728,171
投資その他の資産		
投資有価証券	1,364,021	1,309,058
繰延税金資産	134,993	127,095
敷金及び保証金	296,632	312,572
その他	73,990	61,306
投資その他の資産合計	1,869,638	1,810,034
固定資産合計	3,100,718	2,909,718
資産合計	24,842,451	20,048,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	973,424	860,231
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,488	61,868
未払金	375,936	205,497
未払法人税等	464,888	133,014
賞与引当金	37,850	47,063
資産除去債務	9,003	-
その他	847,974	478,047
流動負債合計	2,870,565	1,885,722
固定負債		
長期借入金	96,521	34,653
資産除去債務	22,273	34,579
繰延税金負債	82,832	329,603
固定負債合計	201,626	398,835
負債合計	3,072,191	2,284,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	606,848	598,473
利益剰余金	18,010,430	15,077,816
自己株式	△898,112	△1,966,015
株主資本合計	20,642,184	16,633,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404,420	528,655
繰延ヘッジ損益	-	△11,605
その他の包括利益累計額合計	404,420	517,049
新株予約権	127,187	127,187
非支配株主持分	596,467	486,685
純資産合計	21,770,259	17,764,216
負債純資産合計	24,842,451	20,048,774

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	12,035,735	8,863,075
売上原価	5,831,275	5,868,344
売上総利益	6,204,460	2,994,730
販売費及び一般管理費	3,557,994	4,216,244
営業利益又は営業損失(△)	2,646,466	△1,221,514
営業外収益		
受取利息	23,917	34,955
受取配当金	255	750
為替差益	-	801
未払配当金除斥益	1,568	1,728
暗号資産評価益	7,186	-
その他	8,341	13,173
営業外収益合計	41,269	51,408
営業外費用		
支払利息	2,324	2,926
持分法による投資損失	5,141	-
為替差損	1,893	-
支払手数料	-	4,516
控除対象外消費税等	12,343	12,229
支払奨励金	85,226	68,447
その他	3,599	10,558
営業外費用合計	110,529	98,679
経常利益又は経常損失(△)	2,577,207	△1,268,786
特別利益		
新株予約権戻入益	83,478	-
投資有価証券売却益	22,013	92,861
段階取得に係る差益	492	-
その他	-	728
特別利益合計	105,984	93,589
特別損失		
減損損失	55,548	10,093
事務所移転費用	-	4,226
事業整理損	-	79,765
投資有価証券評価損	50,768	58,792
その他	1,791	747
特別損失合計	108,107	153,624
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	2,575,083	△1,328,821
法人税、住民税及び事業税	1,083,934	190,047
法人税等調整額	△14,657	154,469
法人税等合計	1,069,277	344,517
当期純利益又は当期純損失(△)	1,505,806	△1,673,338
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	25,354	△114,149
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	1,480,452	△1,559,188

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	1,505,806	△1,673,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509,742	124,352
繰延ヘッジ損益	△1,570,333	△11,605
その他の包括利益合計	△2,080,075	112,746
包括利益	△574,268	△1,560,591
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△548,914	△1,447,915
非支配株主に係る包括利益	△25,354	△112,676

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,923,019	452,447	18,413,837	△963,119	20,826,184
当期変動額					
剰余金の配当			△1,883,859		△1,883,859
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,480,452		1,480,452
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		△1,953		65,010	63,057
連結子会社の増資による 持分の増減		234,111			234,111
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△119,350			△119,350
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		41,592			41,592
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	154,400	△403,407	65,006	△184,000
当期末残高	2,923,019	606,848	18,010,430	△898,112	20,642,184

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	914,162	1,570,333	2,484,495	210,665	19,158	23,540,504
当期変動額						
剰余金の配当						△1,883,859
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,480,452
自己株式の取得						△4
自己株式の処分						63,057
連結子会社の増資による 持分の増減						234,111
連結子会社株式の取得 による持分の増減						△119,350
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						41,592
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△509,742	△1,570,333	△2,080,075	△83,478	577,308	△1,586,244
当期変動額合計	△509,742	△1,570,333	△2,080,075	△83,478	577,308	△1,770,244
当期末残高	404,420	—	404,420	127,187	596,467	21,770,259

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,923,019	606,848	18,010,430	△898,112	20,642,184
当期変動額					
剰余金の配当			△1,373,424		△1,373,424
親会社株主に帰属する 当期純損失			△1,559,188		△1,559,188
自己株式の取得				△1,129,072	△1,129,072
自己株式の処分		△8,374		61,170	52,795
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△8,374	△2,932,613	△1,067,902	△4,008,891
当期末残高	2,923,019	598,473	15,077,816	△1,966,015	16,633,293

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	404,420	—	404,420	127,187	596,467	21,770,259
当期変動額						
剰余金の配当						△1,373,424
親会社株主に帰属する 当期純損失						△1,559,188
自己株式の取得						△1,129,072
自己株式の処分						52,795
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	124,234	△11,605	112,628		△109,781	2,847
当期変動額合計	124,234	△11,605	112,628	—	△109,781	△4,006,043
当期末残高	528,655	△11,605	517,049	127,187	486,685	17,764,216

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	2,575,083	△1,328,821
減価償却費	172,374	211,562
減損損失	55,548	10,093
のれん償却額	52,317	110,407
株式報酬費用	58,831	57,323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△334	1,558
受取利息及び受取配当金	△24,173	△35,705
支払利息	2,324	2,926
持分法による投資損益(△は益)	5,141	-
事業整理損	-	79,765
投資有価証券評価損	50,768	58,792
売上債権の増減額(△は増加)	4,229	△87,294
仕入債務の増減額(△は減少)	242,064	△113,192
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△684,030	△1,142,640
その他	234,796	△697,390
小計	2,744,941	△2,872,614
利息及び配当金の受取額	24,173	35,705
利息の支払額	△2,478	△2,947
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,385,828	△1,137,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,380,808	△3,977,412
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△48,328	△65,262
無形固定資産の取得による支出	△157,718	△126,908
投資有価証券の売却による収入	142,500	99,840
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△174,603	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	22,993	-
その他	△22,660	△16,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,816	△109,039
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,272	△61,488
自己株式の取得による支出	△4	△1,129,072
配当金の支払額	△1,880,619	△1,372,646
非支配株主からの払込みによる収入	349,411	1,593
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	59,949	-
その他	△25,189	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,516,724	△2,561,614
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△373,733	△6,648,066
現金及び現金同等物の期首残高	12,985,094	12,611,361
現金及び現金同等物の期末残高	12,611,361	5,963,294

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

## 1. のれんの評価

## (1) 連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
のれん	509,293	388,793

## (2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

のれんは、取得による支配獲得時に、取得した当該事業により今後期待される超過収益力に関連して発生しており、その効果の発現する期間を見積り、その期間で均等償却しております。

その資産性については、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、支配獲得時に識別した超過収益力の評価も踏まえ、減損の兆候の有無を検討しております。減損の兆候を識別した場合には、将来の事業計画を基礎に算定されたのれんの残存償却期間内の割引前将来キャッシュ・フローと帳簿価額を比較して減損損失の認識の可否を判定しております。減損損失の認識が必要と判定された場合、のれんについては、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しております。

割引前将来キャッシュ・フローの見積りの基礎となる事業計画等には、収益及び費用の予測について重要な仮定が含まれております。

当該仮定について、将来の不確実な経済条件の変動等により見直しが必要となった場合、将来キャッシュ・フローや回収可能価額が減少した場合には、翌連結会計年度の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

## 2. 市場価格のない非上場株式等の評価

## (1) 連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
営業投資有価証券のうち非上場株式等	4,421,438	5,555,904
投資有価証券のうち非上場株式等	343,139	287,729
売上原価(営業投資有価証券評価損)	351,683	169,970
投資有価証券評価損	50,768	58,792

## (2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

市場価格のない非上場株式等の評価については、投資先企業の1株当たりの純資産額に超過収益力を反映させたものを実質価額とし、当該実質価額が取得原価に比べて50%以上低下した場合には、回復可能性が十分な根拠により裏付けられる場合を除き減損処理を行っております。

なお、超過収益力については、投資先の事業進捗及び資金調達実績等を踏まえて毎四半期ごとに判断しておりますが、投資先の経営環境の変化や事業進捗の状況により見直しが必要となった場合には、翌連結会計年度の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各セグメントに属する事業の種類は以下のとおりであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

① 投資事業

スタートアップ企業への投資、ファンドへの出資、ファンドの運営

② 教育事業

個別指導学習塾事業、オンライン教育事業、スマートフォン向けアプリ開発事業

なお、オンライン教育事業につきましては、2025年12月31日付で㈱システムシェアードへ譲渡いたしました。

③ 人材マッチング事業

スカウト送信代行、採用支援等のRPO（採用代行サービス）事業、人材紹介事業、デザイナー特化型マッチング事業

④ アドテク・コンテンツ事業

広告主・広告代理店向け広告配信プラットフォーム及びメディア向け広告管理プラットフォームの企画・開発・運営、デジタルコンテンツ等の企画・制作・運営、ファンビジネス事業、スポーツマーケティング事業等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法とおおむね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス㈱及び㈱ブリューアスを経営統合したことに伴い、㈱ブリューアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	1,778,907	659,734	4,622,338	7,060,980	—	7,060,980
その他の収益	4,974,755	—	—	—	4,974,755	—	4,974,755
外部顧客への 売上高	4,974,755	1,778,907	659,734	4,622,338	12,035,735	—	12,035,735
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	2,105	2,285	—	4,391	△4,391	—
計	4,974,755	1,781,013	662,019	4,622,338	12,040,127	△4,391	12,035,735
セグメント利益 又は損失(△)	3,907,427	△438,585	△155,828	323,891	3,636,905	△990,439	2,646,466
セグメント資産	8,345,425	2,389,699	407,284	3,605,896	14,748,305	10,094,145	24,842,451
その他の項目							
減価償却費	—	34,489	130	103,243	137,863	34,510	172,374
のれんの償却額	—	39,377	12,940	—	52,317	—	52,317
のれんの 未償却残高	—	509,293	—	—	509,293	—	509,293
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	—	37,038	—	161,307	198,345	9,645	207,990

(注) 1. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△990,439千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額10,094,145千円は、主として、当社での余資運用資金、管理部門等に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	3,674,471	791,531	3,997,563	8,463,567	—	8,463,567
その他の収益	399,507	—	—	—	399,507	—	399,507
外部顧客への 売上高	399,507	3,674,471	791,531	3,997,563	8,863,075	—	8,863,075
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	15,041	5,016	—	20,057	△20,057	—
計	399,507	3,689,513	796,548	3,997,563	8,883,132	△20,057	8,863,075
セグメント利益 又は損失(△)	△186,123	△164,653	△39,330	132,545	△257,561	△963,953	△1,221,514
セグメント資産	9,379,647	1,931,006	218,998	3,232,836	14,762,488	5,286,286	20,048,774
その他の項目							
減価償却費	—	58,897	55	119,860	178,813	32,748	211,562
のれんの償却額	—	110,407	—	—	110,407	—	110,407
のれんの 未償却残高	—	388,793	—	—	388,793	—	388,793
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	—	69,269	—	118,945	188,214	2,506	190,721

(注) 1. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△963,953千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額5,286,286千円は、主として、当社での余資運用資金、管理部門等に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	合計
11,694,959	328,447	474	11,576	278	12,035,735

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
みずほ証券(株) (株式売却収入)	3,266,549	投資事業
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) (株式売却収入)	1,433,521	投資事業

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	合計
8,533,153	320,368	430	9,122	—	8,863,075

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)Hakuhodo DY ONE	1,163,927	アドテク・コンテンツ事業 教育事業 人材マッチング事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業 (注)	アドテク・ コンテンツ事業	計	調整額	連結損益 計算書計上額
減損損失	—	19,892	35,656	—	55,548	—	55,548

(注) 人材マッチング事業において、のれんの減損損失35,656千円を計上しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	投資事業	教育事業 (注)	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業	計	調整額	連結損益 計算書計上額
減損損失	—	10,093	—	—	10,093	—	10,093

(注) 教育事業において、のれんの減損損失10,093千円を計上しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	投資事業	教育事業 (注)	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業	計		
当期償却額	—	39,377	12,940	—	52,317	—	52,317
当期末残高	—	509,293	—	—	509,293	—	509,293

(注) 教育事業において、(株)グローバルアシストホールディングス(現(株)ベストコ)の株式を取得し子会社化したことにより、のれんの金額が492,471千円増加しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業	計		
当期償却額	—	110,407	—	—	110,407	—	110,407
当期末残高	—	388,793	—	—	388,793	—	388,793

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	535.75円	458.06円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	37.71円	△41.33円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	37.69円	—円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	1,480,452	△1,559,188
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	1,480,452	△1,559,188
普通株式の期中平均株式数(株)	39,261,652	37,728,485
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	22,094	—
(うち新株予約権)(株)	(22,094)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (新株予約権の数600個)	新株予約権2種類 (新株予約権の数1,622個)

2. 2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	21,770,259	17,764,216
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	723,654	613,873
(うち新株予約権(千円))	(127,187)	(127,187)
(うち非支配株主持分(千円))	(596,467)	(486,685)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	21,046,605	17,150,342
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	39,284,287	37,441,202

(重要な後発事象)

連結子会社の異動（フォッグ㈱の株式売却等）

当社は、2026年4月13日付で、当社の連結子会社であるフォッグ㈱の株式の一部を譲渡する契約を締結いたしました。また、同社は同日付で第三者割当増資を実施しました。

これらにより、当社の株式持分比率は過半数を下回るため、当社は同社に対する支配を喪失し、同社は連結の範囲から除外され、持分法適用会社となりました。

(1) 株式売却の目的

当社の連結子会社であるフォッグ㈱は、将来的なIPOを目指し、2024年9月にシリーズAとして約3億円の資金調達を実施しました。このたび、シリーズBとして、複数の投資家を引受先とする第三者割当増資による資金調達を順次実施するに当たり、今回、ニッセイ・キャピタル15号投資事業有限責任組合及びTBSイノベーション・パートナーズ3号投資事業組合を引受先とする第三者割当増資を実施し、当社保有の同社株式の一部を同組合へ譲渡することになりました。

(2) 売却する相手先の名称

ニッセイ・キャピタル15号投資事業有限責任組合  
TBSイノベーション・パートナーズ3号投資事業組合

(3) 売却の時期

2026年4月21日

(4) 当該子会社の概要

- ① 名称 フォッグ㈱
- ② 事業内容 オンラインくじ事業、オリジナル公式グッズ事業

(5) 売却する株式の数、売却後の持分比率、売却価額及び売却損益

- ① 売却する株式の数 967株
- ② 売却後の持分比率 43.51%
- ③ 売却価額 当事者間の契約により非開示とさせていただきます。
- ④ 売却損益 算定中であります。